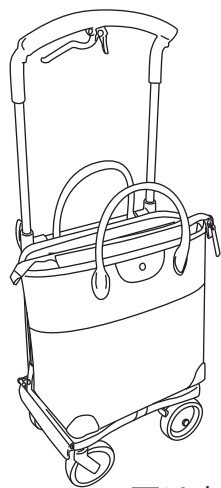


この製品は買い物などの際、荷物を入れて運ぶためのものです。身体を支えることができる設計にしておりますが、手すりにつかまらなければ歩行できない方、介助者がいなければ歩行できない方の使用には適しません。シルバーカー、歩行車の用途には使用しないでください。

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読みください。また、読まれたあとは大切に保管してください。製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。



図は右用です

目次

ご使用前の注意	1 P
ご使用上の注意	2 ~ 4 P
お手入れ方法	4 P
保管方法	4 P
各部の名称と製品仕様	5 P
走行方法	6 P
ブレーキの使用方法	6 ~ 7 P
持ち手高さの調節方法	7 P
前輪キャスター切り替えの 使用方法	8 P
袋の取りはずし方	
・取り付け方	9 P
ブレーキの調節方法	10 ~ 11 P

転倒や事故防止のため、下記の事項をかならず守ってください。

ご使用前の注意

以下の方はご使用にならないでください。

警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 杖なしでは歩行できない方。（手すりにつかまらなければ歩行できない方や、介助者がいなければ歩行できない方。）
- リハビリ中などのように、体重の一部を支えないと歩行できない方。

注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。


- 高さ調節および袋の取り付けをするときは周囲に人がいないことを確認してください。
- 高さ調節および袋の取り付けは確実に行ってください。また指などをはさまないように注意してください。
- 使用前に各部を点検してください。
- 各部の留め金具（カシメ・鉋・ネジ・ナットなど）がゆるんでいないことを確認してください。
- 持ち手が固定されていることを確認してください。固定されていないと、使用中に高さが変わることがあり危険です。
- 各部を点検し、特にハンドブレーキと駐車ブレーキの使用時に左右の後輪が確実に固定されることを確認してください。
- タイヤおよびブレーキに磨耗が無いことを確認し、必要に応じて交換などをしてください。交換する場合はご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。

ご使用上の注意



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 持ち手に荷物を吊りさげないでください。バランスをくずし危険です。
 - 走って使用しないでください。転倒や事故につながるおそれがあります。
 - 持ち手に体重をかけると、転倒などのおそれがあります。
 - この製品には、前後方向があります。かならず前輪キャスターがついている方を前にして使用してください。後ろ向きで使用すると、転倒するおそれがあります。
- 
- この製品には、右用・左用があります。ご使用前にかならず確認してください。
 - ハンドブレーキを握った状態、および駐車ブレーキをかけた状態で歩行しないでください。
 - 車体からはなれるときはかならず駐車ブレーキをかけてください。また、非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
 - ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。
 - 坂道では駐車しないでください。坂道では、たとえブレーキをかけても動く場合があります大変危険です。
 - 踏切などの溝を越えるときは、前輪がはまらないように十分に注意して操作してください。

注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 不整地での使用、段差や溝、踏切横断時では車輪がはまってしまい転倒するおそれがありますので注意してください。手前でかならず一旦止まり、十分注意して慎重に越えてください。
- 段差のあるところで荷物を入れたまま引くと、車輪、フレームなどが破損することがありますので十分注意してください。
- 階段で本体を引きおろさないでください。
- 荷物を入れたまま高い所から落下させると、車輪・フレームなどが破損することがありますので十分注意してください。
- 袋内に8kg以上の重さの荷物を入れて使用しないでください。
- 重い荷物は袋の下部に収納してください。
- 本製品は真横に移動できません。真横移動の際は持ちあげて移動させてください。
- 片寄って物を入れるとバランスが悪くなり、転倒することがあります。
- 雨や風が強いときは、使用しないでください。
- エスカレーターで移動するときは、製品が落下しないよう置く場所に注意して持ち手をしっかり握ってください。
- シルバーカー・イス・踏み台・人を乗せるなどの用途には使用しないでください。
- 分解・修理は弊社サービス員以外、行わないでください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- 持ち手を収納するときは、手をはさまないように注意してください。
- 身体を支える際、持ち手に対し垂直に体重がかかるように使用してください。斜めから体重をかけると転倒などのおそれがあります。
- 勢いよく持ち手部分に負荷をかけないでください。過度な荷重がかかり変形、破損、転倒のおそれがあります。
- 最大使用者体重をかならず守ってください。



! **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 路坂道など、平坦ではない場所で体を支えないでください。転倒のおそれがあります。
- 路面の状態によっては、転倒のおそれがあります。十分に注意してください。
- 立ち座りの際、手すりかわりに使用しないでください。
- 飛行機搭乗時の預け入れ荷物にはできません。また、飛行機内への持ち込みは、航空会社の指示に従ってください。
- ナイフ等鋭利なものを中に入れてください。

お手入れ方法

- 本体が、雨などで濡れたときは乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- 袋の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。

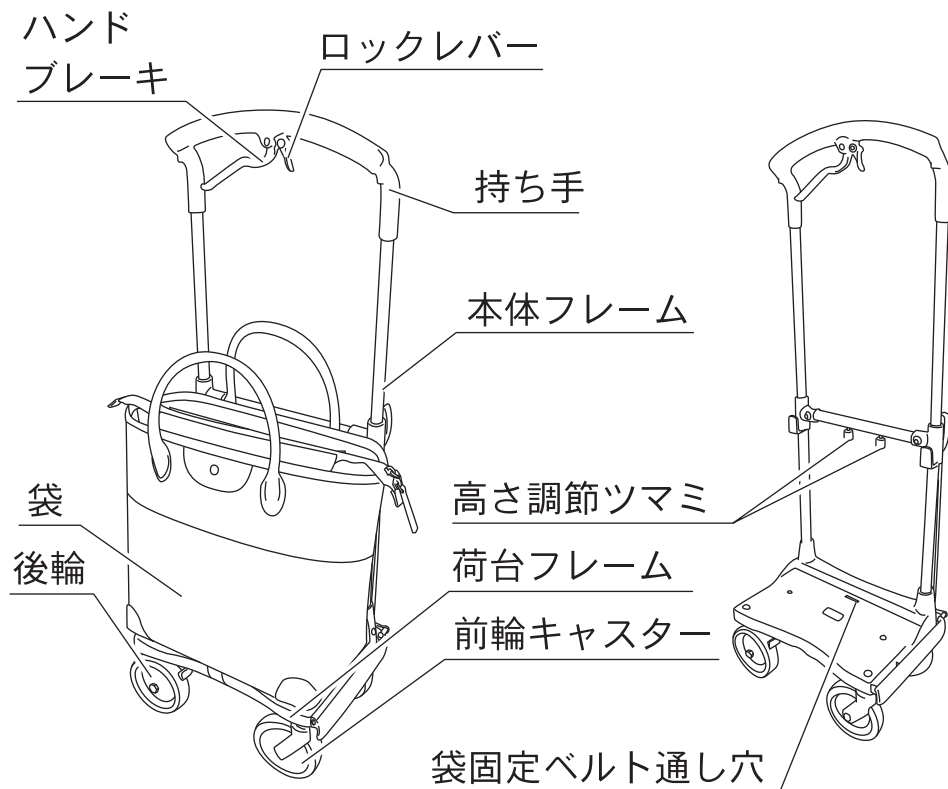
保管方法

- 屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。
- 雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や変形の原因となります。

各部の名称と製品仕様

この製品には右用と左用があります。この取扱説明書の図はすべて右用です。

左用は図の左右が反対向きとなりますのでご注意ください。

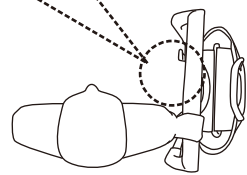
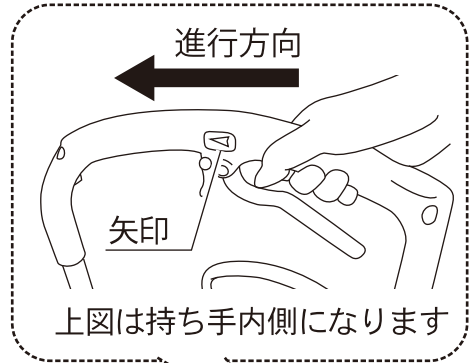
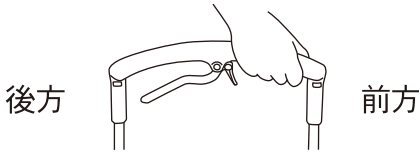
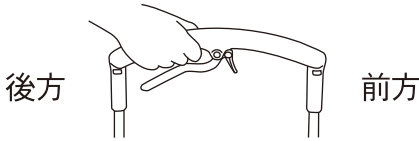


組み立て寸法	幅345×奥行215×高さ675～860mm		
持ち手高さ	高さ675～860mm (5ポジション)		
本体材質	アルミニウム合金	車輪材質	EVA樹脂
袋寸法	幅400×奥行160×高さ330mm		
重量	2.7kg		
袋材質	ナイロン	最大積載荷重	8kg
最大使用者体重	80kg	最大持ち手耐荷重	40kg

※各寸法・重量は参考数値です。

走行方法

持ち手の後方を握ってください。持ち手内側にある矢印の方向に進んでください。



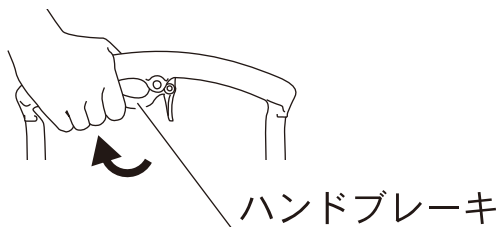
⚠ 注意

- 右用のものは右手で使用し、左用のものは左手で使用してください。（上図は右用の仕様です。）やむを得ず左手で使用する場合は十分に注意してください。

ブレーキの使用方法

【ハンドブレーキの使用方法】

持ち手とハンドブレーキを一緒に握るとブレーキがかかります。指をはなすと解除されます。

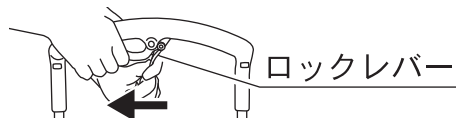


ブレーキの使用方法

【駐車ブレーキの使用方法】

駐車ブレーキをかける

ハンドブレーキを握りながら、ロックレバーを引くと駐車ブレーキがかかります。



駐車ブレーキを解除する

ハンドブレーキを握りながら、ロックレバーを進行方向に押すと駐車ブレーキが解除されます。

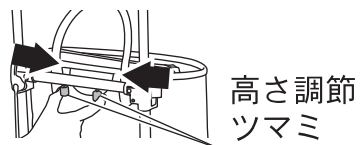


注意

- 車体からはなれるときはかならず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 指などははさまないように注意してください。

持ち手高さの調節方法

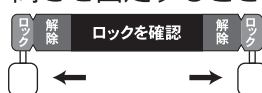
高さ調節ツマミを内側に寄せながら持ち手を上下させ、お好みの高さでツマミをはなしてください。ツマミが外側に開いて左右の本体フレームが固定されたことを確認してください。



高さを調節するとき



高さを固定するとき

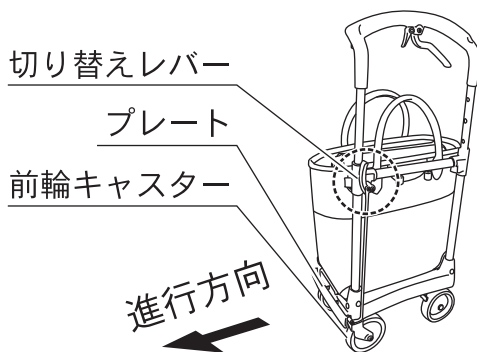


注意

- 持ち手をさげるときは、体重をかけないでください。バランスをくずし、転倒するおそれがあります。
- 持ち手が確実に固定されていることを確認してから使用してください。
- 指などははさまないように注意してください。
- 持ち手を収納するとき、手をはさまないように注意してください。
- 本体フレームの左右の高さが同じ位置であることをかならず確認してください。
- 使用するとき、高さ調節ツマミがロックの位置になっていることを確認してください。

前輪キャスター切り替えの使用方法

前輪キャスターの動き方を、お好みに合わせて「直進固定」と「360度回転」の2種類に設定できます。



直進固定

360度回転

背面図

切り替え
レバー

切り替えレバーをあげるとキャスターがロックされ、直進固定となります。

背面図

切り替えレバーをさげるとキャスターが解除され、360度回転します。

プレート

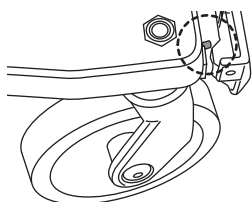
直進固定

回転角度
360度

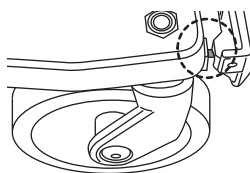
⚠️ 注意

直進固定で使用している際、一時的にキャスターのロックがはずれることがあります。再度、車体を少し前進させると直進固定の状態に戻ります。

ロック
はずれ



直進

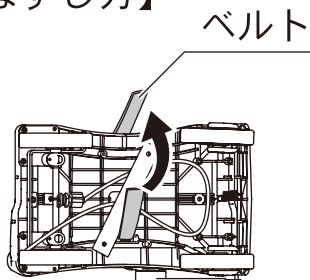


自動で
ロック

袋の取りはずし方・取り付け方

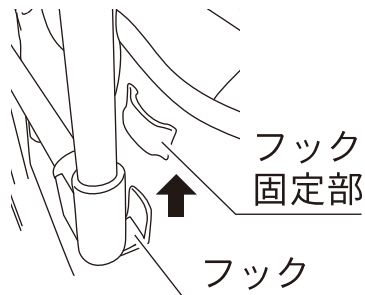
【取りはずし方】

1



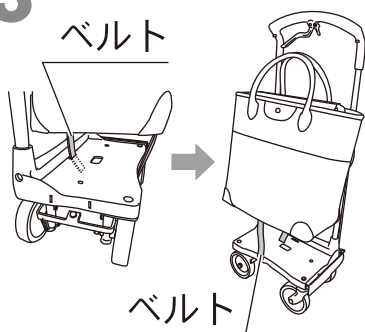
荷台フレーム裏側にあるベルトの面ファスナーを取りはずしてください。

2



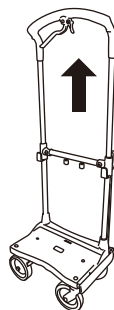
袋背面にあるフック固定部を本体フレームのフックから取りはずしてください。

3



袋下部にあるベルトを荷台フレームから抜いてください。

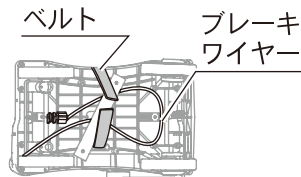
【取り付け方】



袋の取り付けは持ち手をあげた状態で行ってください。取り付けの際は取りはずし方と逆の手順で取り付けてください。

！ 注意

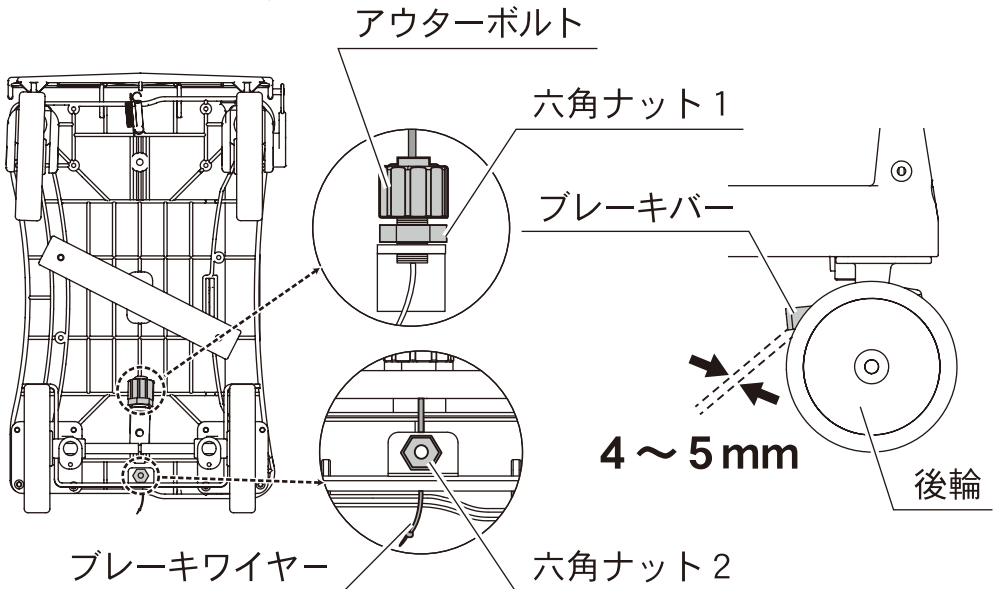
- 袋を取り付けた際は、袋が確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- 取り付けの際は、かならずブレーキワイヤーの上にベルトがくるようにしてください。



ブレーキの調節方法

ハンドブレーキの効き方に不都合があるときは、以下の手順で調節してください。

- 1 駐車ブレーキを解除してください。
- 2 荷台フレーム裏面にある六角ナット1を反時計回りの方向へ回してゆるめてください。
- 3 アウターボルトを回し、後輪とブレーキバーのすき間を4～5mm位に調節してください。
時計回り → すき間が広がる
反時計回り → すき間が狭まる
- 4 アウターボルトを押さえながら、六角ナット1を時計回りの方向へ回して締めてください。(六角ナット1を締めると、3で行った調節がずれてしまいます。)

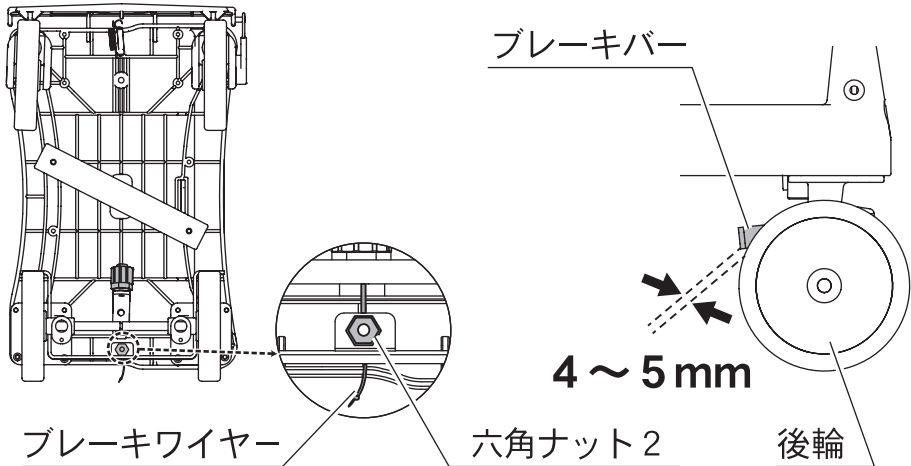


ブレーキの調節方法

■前記の手順でブレーキ調節ができない場合

ブレーキバー裏側にある六角ナット2を反時計回りの方向へ回してゆるめ、ペンチなどでブレーキワイヤーを引っ張り、後輪とブレーキバーのすき間を4～5mm位に調節してください。その後、六角ナット2を時計回りの方向へ回して締めてください。

※この調節方法は、アウターボルトでの調節ができない場合にのみ行ってください。通常の微調節は、10Pのアウターボルトでの調節方法で行ってください。



製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険があります。

※本製品をほかの方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡してください。

TAKE CARE OF
Tacaof